

2 業務用小型脱臭装置の商品化研究



(株)日本香堂で性能試験中の実証装置

■研究の背景

臭気の苦情件数は年間 23,000 件（全国）に達し、食堂、病院、中小製造業など日常生活圏に近い所が臭気発生源になるケースが目立っている。大型の工場や、家庭用などには商品化されている脱臭装置（機器）があるが、中小事業者向けの業務用小型装置にあって、煙分や油分（油滴）を含む臭気除去に対応できる装置は少なく、研究開発が望まれていた。

■研究の成果

これまでプラズマ放電と触媒による脱臭技術の研究開発を(有)シンコー技研、群馬大学、および群馬産業技術センターの3者で進めてきたが、本研究ではさらに煙分や油分を含む臭気除去に対応できる業務用小型脱臭装置の商品化に向け、実証装置（写真）を設計・製作した。(株)日本香堂のご協力を得て東京工場にて平成17年12月から実証試験を開始し、平成18年2月末現在で実証試験を継続中である。実証中間結果によると、目標性能を満たしていることが確認されている。実証試験終了後の結果を精査し、平成18年度の早い時期に、処理量 $30\text{m}^3/\text{min}$ を持つ新製品の上市を目指したい。

■研究機関名

(有)シンコー技研、群馬県立産業技術センター、群馬大学

■研究期間

平成15年4月～平成18年3月

(群馬県産学官共同研究事業 [H15]、群馬県研究開発推進費 [H16,17]、公募型共同研究 [H17])